

## ヒアリング結果 (OX1)

- この表示画面を見て思うのは、多くの人にとって簡単に使えて、従来の OTDR の波形や各種イベントといった知識とは変わって、すぐ誰かに、問題は何で、どこなのかを教えてくれるようです。
- これは、ほんとにハンディですね。コネクタが良好であると分かります。
- ここの接続点とテスト側、テスト側のコネクタは、非常に良好なので表示されていません。全て良さそうです。一般的な OTDR なら 10~15 秒、EXFO 製 iOLM なら 30~40 秒以上なので、全体としてかなり速くなりますね。
- このようなユニット内でスプライスを作るような場合には、すぐに良否が分かって便利ですね。
- 私たちにとっての問題は、待つことです。作業中に何か障害が発生し、その障害点を見つけ出すまでここで待つ、見つけ出した後、建物のオーナーや全体を統括する部署に連絡をして、再度戻って修理する一方で、遠端側で作業員がいる間に、障害点などが分かれば、すぐに対処できるので、調整する仕事などを含め、実際には大幅に時間を削減できます。
- 例えばユニット側で最初に開通確認する作業者が、回線に問題がないことを間違いなく確認できることで、これにより繰り返し試験を行うなどの膨大な時間を削減できます。
- 会社の中では、従来型の OTDR を使っている人も多いけど、その人たちにこれを渡して、5 分くらい使い方を説明すれば、誰でも正確で素早く仕事をこなすことができると思います。
- 宅内トラブルシューティングで、作業者が問題解決、もしくは良好な回線であることを間違いなく確認できます。

- これを使うことで、我々作業者は、正確で素早く仕事を行う能力を得ることができ、安価で、処理能力を高め、回線トラブルを素早く取り除く、結果として顧客へ提供を早められます。
- 関係部署に使用してもらったが、評価はおおむね良く、現在使用測定器よりも使い勝手も良く、作業によっては **OX1** の方が良い
- 故障修理班では **OTDR**・パワーメーター・光源をそれぞれ持参し作業を行っているため、1台にまとめることができ、かつ作業の簡易化が見込める
- 接続口が1つ：双方向の場合、対照心線の交換が必要だが、**OX1** は交換不要につき、清掃頻度とデータのばらつきが減る。
- **USB** 給電：モバイルバッテリーで、現場の給電に相当 (iPhone と同じ充電イメージ)。
- 設定項目が最小限でわかり易い
- 短いケーブル (1 m) でも距離測定可
- **ID** テスタと合わせて、心線対照も出来る
- 長さの測定は安定
- 視認性が良い
- スリープからの復帰が早い
- 小型で軽量、持ち運びしやすい
- 波形を見なくていいので、誰でも扱える
- **OTDR** で測定の難しい短距離でも障害点を探索できる